2026年度HSFC起業人材・支援人材育成プログラム

大学発研究成果の事業化への挑戦

第6回 2026.11.26(木) 16:30〜18:00 (16:00開場・受付開始)

研究成果が社会実装へ向かうとき、そこにはどのような研究開発と産業化への挑戦があるのか。
微生物を用いた物質生産技術を例に、研究者としての選択肢の広がりを考えます。

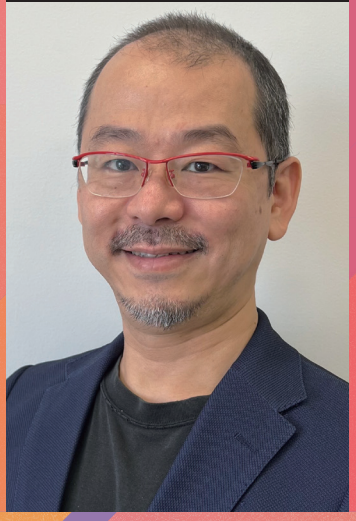
開催方法 ハイブリッド開催
【会場定員100名、オンライン定員30名程度】

会 場 北見工業大学 1号館 A105講義室
(北見市公園町165番地)

内 容 登壇者による講演、トークセッション ほか(終了後、会場参加者を対象に名刺交換の時間を設ける予定です)

中川 明氏

研究者出身CXO
【微生物発酵技術】



ファーメランタ株式会社
取締役CTO

2006年、奈良先端科学技術大学院大学にて博士号取得。同年、協和発酵工業にて博士研究員として研究に従事。2009年より石川県立大学に移り、2017年講師、2024年准教授。大腸菌を用いたアルカロイド生産に長年取り組む。2022年にファーメランタ株式会社を創業し、2025年に同大学を退職。現在は同社取締役CTOとして研究開発と事業化の両輪を担い、産業化に向けた技術基盤の確立に取り組んでいる。

北沢 裕人氏

専門家



合同会社カケル 代表社員 /
一般社団法人ディープテック
スタートアップサポーターズ協会
理事

製薬企業にて営業・経営企画を経て、医療系AIのスタートアップに参画し、創業早期における研究・事業体制の組み立てに取り組み、その後医療系スタートアップにて基盤づくりに取り組む。現在は、大企業・中小企業の新規事業支援、シード・アーリー期のスタートアップの経営・事業推進支援などに取り組むとともに、地方のビジネスエコシステムの構築やディープテック分野の活性に取り組んでいる。

講演タイトル
技術を社会に生かす
〜研究者による起業という選択について〜

研究成果の社会実装は、研究の発展や将来のキャリア形成につながる選択肢の一つです。本イベントでは、研究を基盤に社会実装へ取り組んできた研究者や専門家を迎え、そのきっかけや挑戦の過程、研究活動やキャリアに生じた変化を共有し、研究者としての新たな可能性を考えます。

参加申込 ▶ https://forms.gle/aVwz161tCqdRxN1s8

申込期限
2026.11.26(木)12:00

【主催】小樽商科大学 グローカル戦略推進センター 産学官連携推進部門
【共催】HSFC(北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク)
【運営】有限責任監査法人トーマツ 【お問合せ】hsfc2026@tohmatsu.co.jp

HSFC
HOKKAIDO STARTUP FUTURE CREATION
DEVELOPMENT BY MUTUAL SUPPORT NETWORKS